

平成 20 年度県民モニター第 1 回アンケート調査（テーマ：かかりつけ医について）
自由意見への対応状況等について

モニターの皆さんに自由記入いただいた内容に対し、県の対応状況や考え方を示しています。

Q（前問で「最初に利用したい医療機関として診療所ではなく病院」とした方へ）その理由は。（選択肢以外で自由記入） （17件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	病院の方が、診療体制が整っている。	8	その他 大病院志向によって病院に患者さんが集中することにより、長い待ち時間や病院勤務医師の激務も増大させ、ひいては入院治療や専門的治療といった病院本来の医療機能が発揮できない状況を引き起こす傾向にあります。 その点も考慮していただき、適切な医療機関での受診をお願いします。
2	自宅や職場の近くにあるのが病院である。	5	
3	自分や家族が病院に勤務している。	3	
4	昔から病院を利用している。	1	

Q（前問で「かかりつけ医がない」とした方へ）その理由は。（選択肢以外で自由記入） （16件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	情報がなく探せない。	5	既存施策・事業で対応 兵庫県医療機関情報システムで県内の病院・診療所・歯科診療所を検索することができます。
2	手術後の経過診察等で病院に行く必要がある。	4	既存施策・事業で対応 手術を受けた病院から症状に応じて診療所を紹介することはできますので、受診している病院にご相談ください。
3	かかりつけ医はあったが、廃業等でなくなった。	3	既存施策・事業で対応 新たにかかりつけ医を探される場合は、兵庫県医療機関情報システムで県内の病院・診療所・歯科診療所を検索することができます。
4	健康であり、受診の必要がない。	2	その他 今後も健康にご留意いただき、不調がございましたら、かかりつけ医にご相談ください。
5	症状に応じて専門の病院に行くようにしている。	2	その他 症状で専門の診療科をご自分で判断することは難しい場合もありますので、まずかかりつけ医に診断していただくのが望ましいと考えます。

Q かかりつけ医を選ぶ際、どんな情報があれば役立つか。(選択肢以外で自由記入) (12件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	医師の人柄や診療所の雰囲気	5	その他 兵庫県医療機関情報システムでは、医療法に基づき、医療機関の所在地、診療の曜日、診療科目等の情報を公表していますが、医師の人柄や診療所の雰囲気といった検索項目を設けることは難しいと考えます。
2	患者に対する医師の考え方	2	その他 兵庫県医療機関情報システムでは、医療法に基づき、医療機関の所在地、診療の曜日、診療科目等の情報を公表していますが、患者に対する医師の考え方といった検索項目を設けることは難しいと考えます。
3	医師からの十分な説明の有無	2	その他 兵庫県医療機関情報システムで、医療機関における「セカンド・オピニオンのための診療の有無」を検索できますのでご利用ください。
4	評判	1	その他 兵庫県医療機関情報システムで、医療機関における「患者満足度調査実施の有無及び同結果の提供の有無」を検索できますのでご利用ください。
5	交通アクセス	1	既存施策・事業で対応 兵庫県医療機関情報システムで、交通アクセス(医療機関までの主な利用交通手段)は公表しておりますのでご利用ください。
6	診療所又は医師の診察スケジュール	1	その他 兵庫県医療機関情報システムで、医療機関の診療時間は公表しておりますのでご利用ください。

Q かかりつけ医の普及についての意見 (584件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	身近な医師に対応してもらえるので、望ましいことである。	145	その他 健康相談等を身近に相談できるかかりつけ医を持つことは、病気の早期発見につながると考えます。

2	日頃から色々と相談できて安心できる。	5 1	その他 健康相談等を身近に相談できるかかりつけ医を持つことは、病気の早期発見につながると考えます。
3	医師の資質や技能の向上等が必要である。	4 9	既存施策・事業で対応 このことは、診療所で働く医師だけでなく病院で働く医師にもいえることですが、医師会や地域医療支援病院等の医療機関が医師の資質や技能の向上のため研修会を開いております。
4	病院や専門医との連携が重要である。	4 1	既存施策・事業で対応 地域医療連携室の設置や開放型病床などの診療機能のオープン化等、診療所と病院間の医療連携を進めます。
5	日頃の患者の状態を把握できる。	3 6	その他 健康相談等を身近に相談できるかかりつけ医を持つことは、病気の早期発見につながると考えます。
6	病院との役割分担につながる。	3 0	既存施策・事業で対応 地域医療連携室の設置や開放型病床などの診療機能のオープン化等、診療所と病院間の医療連携を進めます。
7	診療所の受入態勢など普及には無理な面がある。	2 7	既存施策・事業で対応 紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施といった面で、かかりつけ医を支援し診療所の受入態勢を補う地域医療支援病院を各地域に確保していきます。
8	医師の不足や偏在の解消が必要である。	2 2	既存施策・事業で対応 この問題は、かかりつけ医の普及にとどまらず複雑に絡み合った問題であり、兵庫県としても医師の不足や偏在の解消に取り組んでいます。
9	診療所や医師などに関する情報発信の強化が重要である。	2 1	既存施策・事業で対応 兵庫県医療機関情報システムで、医療機関の所在地、診療の曜日、診療科目の検索項目を公表しておりますので、ご利用ください。
1 0	健康管理に有効である。	1 7	その他 健康相談等を身近に相談できるかかりつけ医を持つことは、病気の早期発見につながると考えます。
1 1	医師、患者相互の信頼感を醸成できるかが重要である。	1 7	その他 医療機関の中でもインフォームドコンセントに力を入れているところが増えています。
1 2	休日・時間外診察など診療体制の拡充が必要である。	1 5	既存施策・事業で対応 症状に応じて、1次・2次・3次の救急医療体制を整備しています。

1 3	患者自身の意向を優先すべきである。	1 3	その他 日本の医療はフリーアクセスでどの医療機関でも受診できますが、それぞれの医療機関の役割分担があるため、適切な医療機関での受診が重要です。
1 4	医療費への影響に関して期待又は懸念がある。	1 3	その他 かかりつけ医を持つことでいわゆる「はしご受診」が減り、医療費の削減が期待できると考えます。
1 5	高齢化社会でより必要になる。	1 2	既存施策・事業で対応 高齢者は複数の病気を同時に持っていることが多く、幅広い分野を総合的に診療できる医師の養成が今後求められるものと考えています。
1 6	診療所より病院に対する安心感の強さがある。	1 0	今後の課題 安心して診療所にかかってもらうため、診療所の情報を積極的に公表していきます。
1 7	もっと行政が支援を強化するなど力を注ぐべき分野である。	8	既存施策・事業で対応 紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施といった面で、かかりつけ医を支援する地域医療支援病院を各地域に確保していきます。
1 8	設備面など診療所の受入態勢の整備が必要である。	8	既存施策・事業で対応 へき地診療所の設備整備に対して補助を行っています。
1 9	医療機関同士の情報共有化の推進が必要である。	8	今後の課題 地域連携クリティカルパスの導入等を推進します。
2 0	病状の程度に応じて受診を自粛するなど患者の意識改革が必要である。	8	既存施策・事業で対応 兵庫県立柏原病院の『小児科医を守る会』のように、病状の程度に応じて受診を自粛する動きがありますが、兵庫県は小児科医及び看護師等が小児救急患者からの電話相談を受け、受診の必要性や応急処置をアドバイスするとともに、症状に応じた適切な医療機関の紹介を行う#8000等の電話相談窓口を設置しています。
2 1	医師へのサポート体制の整備が必要である。	8	既存施策・事業で対応 紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施といった面で、かかりつけ医を支援する地域医療支援病院を各地域に確保していきます。
2 2	自分で病状に応じて診療科目を決めるので、かかりつけ医は必要ない。	7	その他 ご自身で症状から専門の診療科を判断するのは難しい場合もありますので、まずかかりつけ医に診断していただくのが望ましいと考えます。

2 3	かかりつけ医を探す際に役立てられる医師の格付けがあればよい。	7	その他 各分野の学会が行っている認定医、専門医等の制度があり、ある程度参考になると考えます。
2 4	かかりつけ医よりセカンド・オピニオンの普及を優先させるべきである。	6	その他 どちらも重要であり、推進すべきと考えます。
2 5	診療所の医師の高齢化対策が必要である。	5	その他 診療所の医師が高齢を理由に廃業する場合、その診療所を引き継いで診療できるように、兵庫県医師会にあるドクターバンクが医業継承の窓口となっています。 また、引き継ぎをスムーズに行えるよう医療機関の法人化を進めています。なお、法人化には医療審議会での諮問が必要です。